

米国

ISM景況指数（2021年6月）

## 雇用指数が縮小に転じる、賃金引上げが収益を圧迫

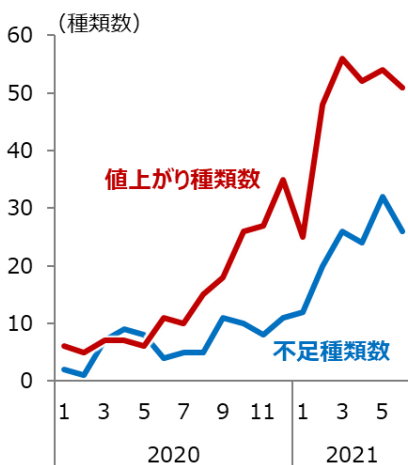
政策・経済センター  
田中高大  
03-6858-2717

## 1 ISM景況指数（総合）



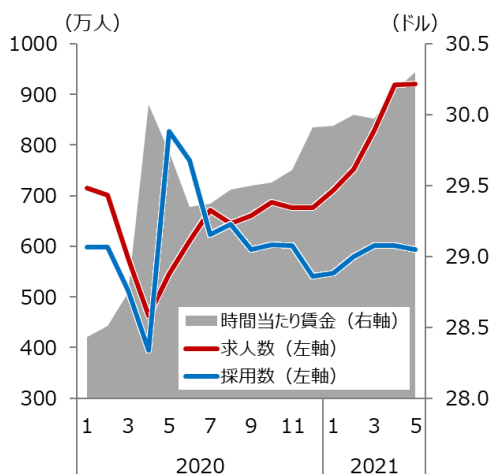
注：新規受注・生産等の項目について、前月と比べ「改善している・変化なし・悪化している」の3択で行った企業アンケート結果を加重平均して算出。50以上が活動拡大を示す。出所：Institute for Supply Management® (ismworld.org)

## 2 不足・値上がり原材料（製造業）



出所：Institute for Supply Management® (ismworld.org) より三菱総合研究所作成

## 3 時間当たり賃金・求人数・採用数



出所：労働省より三菱総合研究所作成

## 評価ポイント

## 今回の結果

- 6月のISM製造業景況指数は60.6と、前月から下落した。
- 製造業指数を構成する5項目のうち、新規受注（66.0）、入荷遅延（75.1）、雇用（49.9）が下落、雇用は採用難を背景に7カ月ぶりに50を下回り縮小を示した。一方、生産（60.8）と在庫（51.1）は上昇、サブ項目での仕入れ価格指数は92.1と過去最高となった。
- 6月のISM非製造業景況指数は60.1と、過去最高となった前月から下落した。
- 非製造業指数を構成する4項目をみると、ビジネス活動（60.4）、新規受注（62.1）、入荷水準（68.5）、雇用（49.9）の全てで下落、雇用は6カ月ぶりに縮小となった。業種別では、不動産・賃貸と農林水産業を除く16業種が活動拡大を報告した。特に芸術・娯楽は最も強い活動拡大となった。

## 基調判断と今後の流れ

- 米国企業の景況感は堅調な需要に支えられ高い水準を維持しているものの、依然として原材料・人材の不足やインフレが障害となっている（図表2,3）。
- 人材確保のための賃金引上げが収益を圧迫しているのに加え、多くの企業でより高い賃金を求める離職者にも悩まされている模様だ。さらに企業担当者からは「募集職種を満たす適格な候補者が見つからない」といった、短期的には解決が難しいスキルのミスマッチを指摘する声も聞かれた。
- 原材料不足については、2月の大統領令を受けて前月発表されたサプライチェーン強靱化案の中で、国内投資や同盟国連携による重要物資の競争力向上・供給網強靱化に加え、目下の供給網混乱に対して、「供給網混乱タスクフォース」の設置やデータハブの構築など省庁横断で解決を目指す指針が示された。
- 上記の対策でも短期的な改善は難しく、先行きも当面の間は原材料・人材不足が続くと見込む。川上からのインフレ圧力が継続すれば、財・サービスへの価格転嫁が進み、堅調な需要にも影を落とす可能性がある。